



第16回 JOIC ワークショップ

「エクスポネンシャル思考」

～オープンイノベーションを推進するために必要な未来を見通す力とは～

オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会事務局

(運営支援：株式会社日本総合研究所)

1. 日時

平成30年11月28日(水) 13:00～17:30 (13:30 受付開始)

2. 場所

NEDO インキュベーションセンター (NIC) @NEDO 川崎本部 5階

(神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー)

3. 目的

最近よく聞くシンギュラリティとは？AIが人間を凌駕する？

世界を席卷する最先端企業が見据える事業戦略には共通の考え方があります。それがシリコンバレーでも注目を集める「エクスポネンシャル思考」、つまり「テクノロジーやビジネスは人間の直観に反して指数関数的(=エクスポネンシャル)に成長する」という考え方です。人も企業も「今までの常識」が全く通用しない時代ですが、かつてなくテクノロジーの進化が加速する「激動の時代」は、裏を返せば「かつてない大きなチャンスが転がっている時代」であるともいえます。このような時代には、最先端テクノロジーを俯瞰してみる力というものがあらゆる人に必須であり、一般教養といえるでしょう。

そこで本ワークショップでは、オープンイノベーションを進めるにあたって必要なテクノロジーをもって未来を見通す力を考察し身につける方法を議論していきます。会員の皆様の社内イノベーション推進の一助とすることを目的として開催致します。

4. 内容

【講師】

エクスポネンシャル・ジャパン共同代表

齋藤 和紀 氏

1974年生まれ。早稲田大学人間科学部卒、同大学院ファイナンス研究科修了。シンギュラリティ大学エグゼクティブプログラム修了。金融庁職員、石油化学メーカーの経理部長を経た後、ベンチャー支援に従事。エクスポネンシャル・ジャパン共同代表、Spectee社、iROBOTICS社のCFOを務める。著書に『エクスポネンシャル思考』(大和書房)『シンギュラリティ・ビジネス』(幻冬舎新書)。

【プログラム】

- ・ JOIC の紹介 + ワークショップの趣旨説明
- ・ ワークショップ
13:00 - 15:00 講義（エクスポネンシャル思考とは）
15:00 - 16:30 ワークショップ（エクスポネンシャル思考の実践）
16:30 - 17:00 発表と総括
※適宜休憩をはさみます
- ・ 質疑応答・名刺交換等

5. 事前宿題

宿題①

「時は 2038 年、私は船に乗り航海をしています」

このタイトルで、**A4 の紙 1 枚**に自由に絵を描いてきてください。この絵を活用したワークが含まれますので、ワークショップ当日にご持参下さい。

【必ず描いてほしいもの】

- ・ 紙の真ん中に船を描いてください。どんな船でも OK です。
- ・ 一番遠くの空に星を描いてください。北極星のように動かない目標として描いてください。
- ・ 星よりも手前の海に島を描いてください。必ず手前にある構図にしてください。

!!!ヒント!!! 他に絵に含めると良いかもしれない要素

- ・ 羅針盤、天気・風（向かい風、追い風）、動力（帆船、スクルー、原子力）
- ・ 波（荒波、静かな波）、冰山、魚、鳥、敵船、飛行機、潜水艦、船団、仲間の船
- ・ 船員、荷物（乗せる荷物、捨てる荷物）、武器（大砲、弓矢、ミサイル）

宿題②

以下の内容で、宿題①で描いた絵にまつわるストーリーを考えてください。

ご提出頂く必要はありませんが、当日ご発表頂く可能性がありますのでメモを作成されることを推奨します。

- A) 遠くの空の星（動かぬ目標）となるのは何ですか？
- B) どんな島（目に見えている課題、マイルストーン）ですか？
- C) どんな形の船で、船は何で動きますか？他に船はいますか？
- D) 船には誰が乗っていますか？
- E) 船はどうやって島にたどり着きますか？
- F) 風や波はどのような感じですか？

以上